

平成24年第8回福岡県教育委員会会議（臨時会）会議録

1 開催日時

平成24年4月26日（木）14時00分から15時15分まで

2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

3 出席委員

住吉徳彦、太田浩二、二子石竜子、清家渉、杉光誠（教育長）

4 欠席委員

久留百合子

5 出席事務局職員

教育次長 荒巻俊彦、理事 大賀龍夫、総務部長 西牟田龍治、
教育企画部長 城戸秀明、教育振興部長 川添弘人、
総務課長 吉田法稔、企画調整課長 大場茂嘉、社会教育課長 中藪宏、
教職員課長 辰田一郎

6 会議

14時00分、住吉委員長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

第14号議案「福岡県教職員身体検査審議会委員の人事について」は、二子石委員から、人事に関する案件のため非公開とする発議があり、直ちに採決され、出席委員の3分の2以上の賛成をもって非公開と決定された。

その他の議案については、非公開の発議なく公開と決定された。

（1）報告

- ・県立高校等活性化推進委員会の設置について

大場企画調整課長から、県立高校等の魅力向上を図るため、当委員会を設置し、県立高校等の活性化を総合的かつ戦略的に推進するとともに、その目的を達成するために県立高校等の現状分析、活性化計画の策定支援、支援方策の企画立案及び調整、活性化推進に資する制度の研究及び施策の推進等を行う旨の説明があった。

次いで審議が行われ、住吉委員長から、当委員会の設置期間や各学校が抱えている問題についての質問があった。

これに対し、大場企画調整課長から、設置期間については設定せず、今後、当委員会で具体化される学校の抱えている様々な問題について、県立高校等の特色ある学校づくりや魅力向上を図るため、学校に対して支援していく旨の説明があった。

また、太田委員から、学校を支援するに当たり、各学校の抱えている問題を把握し、解決していく方法について質問があった。

これに対し、大場企画調整課長から、まずは当委員会において支援が必要な学校を想定し、その学校が作成したプラン等を基に学校の抱えている問題に対する支援を行う旨の説明があった。

また、二子石委員から、当委員会の設置について、他県の取組状況を活用することについての検討と学校に対して意見聴取するなどの方法を工夫した上で、速やかに成果を上げてほしい旨の意見があった。

これに対し、大場企画調整課長から、今後、可能な限り他県の情報を活用したり、学校から意見を聴取したりするなど、当委員会で情報収集を行い、課単位ではなく教育庁全体での支援により県立高校等の活性化を図っていく旨の説明があった。

また、太田委員から、当委員会で学校の抱えている問題などを検討するに当たって、学校との連携や関わり合いなどについて質問があった。

これに対し、大場企画調整課長から、今後、当委員会において、学校から意見聴取を行うなど、相互に連携を図っていくとともに、重点的に予算や人的措置を行っていく等、具体的な支援を推進していく旨の説明があった。

また住吉委員長から、各学校の様々な問題に対する意見を考慮した上で、当委員会が支援を進めるなど、学校の意思を尊重し支援を進めるよう要望する旨の意見があった。

これに対し、城戸教育企画部長から、当委員会で支援方策を決定する際には、各学校からプランやビジョンを提案してもらい、それを効果的に支援するため、教育庁各課が行う必要な支援方策等を総合的に検討した上で、学校に対し戦略的に支援を推進していく旨の説明があった。

最後に、同委員長から、各学校の魅力化、特色化を図り、すばらしい人間味あふれた生徒が育つよう今後の努力をお願いする旨の意見があった。

(2) 議事

- ・第13号議案 福岡県立少年自然の家「玄海の家」の利用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について

中藪社会教育課長から、施設利用者へのサービス向上のため、休所日となっている国民の祝日に関する法律に規定する休日を開所日とするた

め、所要の規定の整備を行う旨の説明があった。

次いで審議が行われ、これについては全員異議なく、第13号議案は原案どおり可決された。

公開審議はここまでとされ、住吉委員長から傍聴人に対して退出が求められた。以後非公開にて審議を行う。

(3) 議事

- ・第14号議案 福岡県教職員身体検査審議会委員の人事について

辰田教職員課長から、福岡県教職員身体検査審議会委員の任期満了に伴い、福岡県教職員身体検査審議会規則第5条に基づき、委員の人事を行うものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、第14号議案は原案どおり可決された。

住吉委員長が閉会を宣言し、15時15分閉会した。